Summer Concert 神戸大学交響楽団



PROGRAM

歌劇「アルジェのイタリア女」序曲 Overture zur Oper "Die Italienerin in Algier"

交響曲 第2番 口短調 Symphony No.2 in B minor

I Allegro

II Scherzo(prestissimo-Allegretto-Tempo I)

III Andante

IV Finale(Allegro)

交響曲 第7番 二短調 作品70

Symphony No. 7 in D minor

I Allegro maestoso

II Poco Adagio

III Scherzo: Vivace

IV Finale: Allegro

ロッシーニ

Gioacchino Rossini

ボロディン

Alexander Borodin

ドヴォルザーク

Antonin Dvořák

客演指揮:小田野 宏 之 学生指揮:井 上 春 緒

2001年7月1日(日)午後6時開演 尼崎市総合文化センターアルカイックホール

後援:兵庫県・神戸市民文化振興財団・神戸新聞社・兵庫県オーケストラ協議会

響友会会長 千 葉 修 二

今宵も沢山の皆様にご来場頂き、有り難うございます。昨年末の『第50回記念定期演奏会』から、すでに半年がたちました。その際、お聞きいただいた方々は、特にチャイコフスキーの第4交響曲の熱演に感銘を受けられたと思います。が、幸か不幸か、学生オーケストラの宿命として、年毎にメンバーの大幅な入れ替えがあり、そのたびに極端に言えば毎年が「一からの出直し」と言うことになりかねません。今回も新しいメンバーでの公式第一戦になります。メジャーで活躍する【イチロー】選手ではありませんが、この一年間、新メンバーでの、さらなる活躍を皆様と共に期待したいと思います。なにとぞ、ご声援をお願いいたします。

神戸大学交響楽団顧問 谷 武 幸

海山の恋しい季節になってまいりました。

日頃は神戸大学交響楽団をご支援いただきありがとうございます。

今年もここ尼崎市総合文化センターアルカイックホールにてサマーコンサートを開催する運びとなりました。

今回は客演指揮に小田野宏之先生をお迎えして

ロッシー二作曲 歌劇「アルジェのイタリア女」序曲

ボロディン作曲 交響曲第2番ロ短調

ドヴォルザーク作曲 交響曲第7番二短調作品70

以上三曲を演奏致します。

団員一同練習に励んでまいりました。その成果を十分に発揮できればと思っております。

どうか最後までご鑑賞下さい。

最後に今後とも神戸大学交響楽団にご支援のほどよろしくお願いします。



小田野 宏之(おだの ひろゆき)

横浜生まれ。1980年東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。1983年同大学大学院音楽研究科修了。指揮法を金子登、渡邉暁雄、ピアノを水谷達夫、フルートを川崎優の各氏に師事。1983年より国際ロータリー財団奨学生として2年間ウィーン国立音楽大学へ留学。オトマール・スウィトナー氏のもとで研鑚を積む。

1982年第17回民音コンクール指揮の部第3位入賞、同時に「斎藤秀雄賞」受賞。1984年オランダで行われた第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに於いて第2位入賞。アムステルダムのコンセルトへボウ大ホールに於いてオランダ放送フィルハーモニー管弦楽団を指揮してヨーロッパにデビュー。

これまで全国各地の主要オーケストラを指揮するほか、オペラ、バレエ公演の指揮、またNHKテレビ、FM放送に出演するなどその活動は多方面にわたり、その誠実な指揮ぶりと豊かな音楽性はそれぞれの分野で高く評価されている。1985年以来オランダ放送交響楽団、同室内管弦楽団と度々演奏会、放送録音を行う。1986年には北オランダのフリスク管弦楽団定期演奏会に日本人として初めて登場、成功を収める。1989年大阪センチュリー交響楽団設立の際は、楽員オーディションの審査やオーケストラのトレーニングに尽力し、同交響楽団指揮者として1992年3月まで活動した。

現在広島交響楽団正指揮者。東京芸術大学非常勤講師。